

2022年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
BALLET 4											
対象	2年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	Hink/谷古宇千尋/ ウェザフォード美輝			実務 経験	有	職種	バレエダンサー				
担当教員紹介											
【Hink】 4歳よりクラシックバレエを始める。日本音楽高等学校バレエコース卒業。ヨーロッパバレエ研修・セミナー等を受け様々な教師に指事。舞台、ミュージカルなどジャンルを越えた活動を経て、2011年1月、トゥシューズを履いたGirlsエンターテイメントグループ「colorpointe（カラーポイント）」結成。演出・振付・プロデュースを行い、ダンサーとしても出演。イベント出演、PV出演、モデル活動等、幅広く活動する全く新しいエンターテイメントグループを取りまとめている。 【谷古宇千尋】 マシューボーン主宰のニューアドベンチャーカンパニー入団。マシューボーン演出・振付「Nutcracker/くるみ割り人形」英国公演、日本公演、韓国公演、アメリカ公演に出演。近年はユーミンソングミュージカル「ガールフレンズ」、マシューボーンの「DORIAN GRAY」、霧矢大夢コンサート「The Gentlewoman」等に出演 【ウェザフォード美輝】 6歳よりバレエを始め、国内のバレエコンクールで多数の賞を受賞。その後渡英しイングリッシュナショナルバレエスクールを卒業。イングリッシュナショナルバレエ、スコティッシュバレエで踊る。帰国後、フリーのダンサーとして数多くの舞台にソリストとして参加。CMやMV、雑誌、イベントなど様々な分野で活躍中。											
授業概要											
この科目では全てのダンスの基礎となるバレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、体の使い方、音楽への理解、文化芸術を学びます。バレエにおけるストレッチ、基礎となるポジションや動きを身に付け、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置きます。その上でテクニック、コントロールを学びバレエを表現できる事を目的とします。											
到達目標											
この科目ではダンスにおける基礎となるバレエを学ぶことで正しい体の使い方、筋肉の使い方を理解します。また基礎技法を修得するとともに、振付による発表会を行いバレエの文化や芸術に対する造詣を深めます。											
授業方法											
この科目ではストレッチやバーを使った基礎動作や身体配置を中心に学びます。センターエクササイズおよび反復練習、正しい体の使い方筋肉の使い方を理解、修得を目指します。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50％ 50％	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
身体のラインが見えるレッスン着を着用し髪の毛が長い学生は結ぶ事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
適時レジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	ウェザフォード先生 ポアントワーク（アダジオ）基本理解										
第2回	ウェザフォード先生 ポアントワーク（アダジオ）表現の研究と演習										
第3回	ウェザフォード先生 ポアントワーク（ターン）基本理解										
第4回	Hink先生 ポアントワーク（ターン）表現の研究と演習										
第5回	Hink先生 ポアントワーク（アレグレ）基本理解										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
BALLET 4	
第6回	Hink先生 ポアントワーク (アレグレ) 表現の研究と演習
第7回	谷古宇先生 ポアントワーク (アンシュヌマン) 基本理解
第8回	谷古宇先生 ポアントワーク (アンシュヌマン) 表現の研究と演習
第9回	谷古宇先生 音楽的表現についての演習
第10回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 前半パートの理解
第11回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 中盤パートの理解
第12回	実習班ごとに公演用の振付を習得する 後半パートと理解
第13回	実習班ごとに公演用のフォーメーションを理解する
第14回	実習班ごとに公演用のフォーメーションを習得し表現する
第15回	振付①～⑤までの精度をあげ演目全体の構成、世界観を理解する